

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	明日葉保育園東戸塚園
経営主体(法人等)	葉隠勇進株式会社
対象サービス	認可保育所
事業所住所等	〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町147-1
設立年月日	平成25年4月1日
評価実施期間	平成27年11月 ～28年4月
公表年月	平成28年8月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版（保育）
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
1. 立地 明日葉保育園東戸塚園は、横須賀線東戸塚駅から徒歩10分ほどの閑静な住宅街に立地しています。平成25年4月に開設した3年目の保育園で、園舎は鉄骨造り2階建て（建物面積539.65㎡）、園庭（275.9㎡）があります。定員70名で0～5歳児77名が在籍しています。産休明け、延長保育、障がい児保育、一時保育を実施しています。 2. 特色 設置法人である葉隠勇進株式会社は給食事業から発展した会社で、食育に力を注いでいます。同法人系列にバス運行会社があり、バスを利用して子どもたちは系列傘下の老人施設への訪問や、新江ノ島水族館・宮ヶ瀬ダム・あいかわ公園（愛甲郡愛川町）などに遠足に出かけて楽しんでいます。その他専任講師によるリトミックや体操教室も行っています。 保育理念を「子どもの明日を育み、今日を支える」を掲げ、子どもが毎日を豊かに過ごし、明日をたくましく生きる力を育むためのより良い保育を目標にしています。 【特に優れていると思われる点】 1. 食育への取り組み 食事年間目標を「皆で楽しく食べる。好き嫌いを減らしていく。食事のマナーを身に着ける。」として食育に力を注いでいます。園庭の畑やプランターで育てた野菜を収穫し、クッキング保育や給食で食べ、ジャガイモ堀りの親子遠足を実施しています。また、給食では、今年度は絵本に出てくる食べ物を提供しています。「ぐりとぐら」の絵本からパンケーキ、「はらぺこあおむし」のカップケーキを提供し、食への興味を育んでいます。人気メニューのレシピ集を年長児のお別れ記念品として渡しています。開園以来世界の料理、郷土料理も提供しています。 2. 子どもの興味に合わせたコーナーの設定 中長期計画に子どもが主体的に遊べる保育環境づくり、自分で遊びを選択し、考え楽しめるような環境づくりを掲げ、職員は保育環境に関した研修を受講し、子どもの興味に合わせたコーナーを設定しています。具体的には、3～5歳児の部屋に隣接するホールには、手作りの椅子や、ままごとコーナー、絵本コーナー、お絵かきコーナー、ブロックのコーナーが設けられ、子どもたちは異年齢でレジに並んだり、店員になったりしてお店屋さんごっこ、買い物ごっこを楽しみ、年長さんが発表会で楽しんだ衣装を年少の子どもたちが着たり、お絵かきを楽しんでいます。その過程で年少児が年長児にあこがれを持ち、年長児は年下の子どもの思いやりの気持ちが育っています。	

3. 保護者とのコミュニケーション

園長はすべての保護者と週の内です必ず1回は話すことを心がけ、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。保護者からの意見要望を把握するように努め、要望の多かった親子遠足や餅つき、消防署見学などの行事を取り入れています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 保育所としての自己評価を職員で話し合い課題の改善を

職員の自己評価を基に、園長と主任が検討し、課題点を出して、みんなで改善に努めていますが、全職員で話し合って改善に取り組むまでには至っていません。職員の自己評価結果を持ち寄り、全職員で話し合い、保育園としての課題を明らかにして改善に取り組むことが期待されます。

2. 日常の小さな苦情・要望も記録を

保護者からの意見要望は保育の質の向上に役立ちます。送迎時に寄せられた、また連絡帳に記載された日常のちょっとした苦情・要望を記録して蓄積し、解決に取り組むことが期待されます。

3. 自発的な表現活動を行うための環境整備

子どもの表現する力・創造する力を支援するために、子どもが自発的に表現できるような様々な素材を、自由に使えるように準備・配置されることを期待します。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重	・保育理念を「子どもの明日を育み、今日を支える」として子どもが毎日を豊かにすごせる保育を通じて明日をたくましく生きる力を育み、家庭と地域社会とのコミュニケーションを大切に よりよい今日をサポートしますとし、保育方針は子どもが今日を最もよく生き、望ましい「明日」を作り出す力の基礎を培うとして子どもを尊重したものになっています。 ・職員は子どもの人権について「全国保育士倫理要綱」を研修の教材として用い、子どもへの言葉かけや対応を学び、常に意識して、子どもの目線で、優しくゆっくりはっきりとした言葉遣いで子どもに接しています。 ・個人情報保護と守秘義務について職員は入社時に、実習生はオリエンテーション時に説明を受け、誓約書を交わしています。児童票などの個人情報の記載されている書類は事務所の鍵付きロッカーに保管し、園長が管理しています。 ・日常の遊びやままごと、運動会や行事での役割や服装、並び方や色などで性別による区別はしていません。職員は子どもへの対応は家庭での役割の固定観念を持たず支援し、ミーティングで注意し合い、性差への認識を改めています。 ・絵本のコーナーやドアの陰、エレベーター横のスペース、空いている保育室などが 子どもが一人で、職員と1対1になりたいと思う時に過ごせる場所となっています。
2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	・子どもの成長や興味に合わせおもちゃや教材を用意し低い棚に置き、子どもは自由に取り出して遊び、片付けしています。 ・0～2歳児の保育室はカーペットなどを敷いてコーナーを作り、遊びを中心とした小集団保育が行われ、遊びの場を片づけて食事の場を作り、食事後にテーブルを片づけて、掃除して午睡の場を用意しています。

	・職員は子どもの作りたい、やりたい気持ちを集団活動に取り入れています。お店屋さんごっこから園の行事に発展させ、ボディペインティングは単体クラスでの遊びから集団遊びへと職員が子どもと一緒に考え実践しています。 ・乳児は順番を守ったり、「貸す・借りる」という簡単なことから、幼児には、鬼ごっこやハンカチ落としゲームなどルールのある集団遊びを一斉活動に取り入れています。 ・散歩時に子どもたちは地域の人や自然に触れ、消防署や高齢者施設の見学で地域を知っていきます。子どもが持ってきたカブトムシやカタツムリを飼育観察し、生き物を大切にする気持ちを育てています。 ・午睡時は静かな音楽を流し環境を整え、職員が傍について安心させ、眠くない子どもは絵本などで静かに過ごしています。0、1歳児は5分毎の呼吸チェックと姿勢の確認を行い、5歳児は就学に向けて10月頃から午睡をなくし、年齢に応じた対応をしています。 ・トイレトレーニングは家庭との連携をとり、1歳ごろからトイレに座ることから始め、個々の発達状況を見ながら個別に対応しています。排泄状況について、乳児は連絡ノートに家庭での様子や園での状態を記載して、連絡を取り合っています。 ・毎月行事や季節に因んだ献立の他、年間のテーマを決めた特別メニューがあり、今年は絵本に載っている食べ物を提供しています。栽培した野菜を給食やおやつに取り入れ、職員と一緒に食し話題を提供しています。 ・0～2歳児は連絡ノートに家庭での様子を記入してもらい、園での活動の様子、食事、排泄、睡眠の様子を記載して保護者に伝えるようにしています。3歳以上も全員連絡ノートを用意し、必要に応じて活用しています。クラスの様子をボードに書いて知らせています。 ・個人面談は、保護者の都合を考慮しながら個人面談週間として年に1回、2週間の間に1日2～3人ずつ対象に開催し、100%の保護者が出席しています。面談の記録は各職員がファイルして保存しています。 ・クラス全体の様子は年に3回のクラス懇談会の他に、毎月クラス便りの発行や保育室内に行事の集合写真を掲示して、知らせています。
3.サービスマネジメントシステムの確立あいに	・保育課程は保育理念や保育方針、保育目標を基に、「地域の実態とそれに対応した事業・行事」欄を設けて、把握している子どもの状況や周囲の環境を考慮して作成しています。 ・入園時に保護者から家族の状況、食事と生活状況調査、0歳児には食材の調査などを提出してもらい、生育歴や家庭の状況を把握し、入園児の面談シートを個別にファイルにまとめ、職員が情報を共有できるようにし、日々の保育に活かせるようになっています。 ・指導計画は子どもの意見や要望を取り入れ、子どもの様子からくみ取った思いを

	大切に作成しています。年間、月間指導計画、週案はクラスごとに一人一人の子どもの状況を話し合い作成しています。評価反省を各指導計画の自己評価やふりかえりの欄に記入し、次期の計画に反映しています。 ・配慮を必要とする子どもを積極的に受け入れる姿勢がありますが、現在在籍していないので、3歳以上の個別指導計画は作成していません。 ・気になる子どもについては職員会議で対応の仕方など職員会議で話し合い、巡回の横浜市戸塚地域療育センターの職員からの助言や看護師、気になる子どもの担任が受講した外部研修から最新情報を得て、職員会議で共有しています。 ・苦情・要望の受け付け担当者は園長で、相談解決責任者は設置法人本部の子育て支援事業部として、第三者委員の名前・連絡先を重要事項説明書に明記し玄関に掲示して、苦情が申し立てることができるようになっています。保護者には行事ごとにアンケートを取り、懇談会でも意見を聞いています。自分で意見を表明するのが困難な子どもや保護者に対しては、職員の方から声をかけ意見を聞くように努めています。
4.地域との交流・連携	・年に2回の運営委員会に地域の民生委員が出席し、地域の現状の情報交換をしていますが、地域の子育てニーズを把握するまでには至っていません。 ・園長が戸塚区の園長会や幼保小連絡会議に出席し、地域子育てニーズの把握に努め、近隣の小学校と連携を深め、保育園と交流を深めています。年長児が東戸塚の13の保育園児とドッジボールを行ったり、公園での交流を行っています。 ・戸塚区役所で行う「とつかとことこフェスタ」に参加し、保育園紹介をし、川上保育園と東戸塚地区センター合同の秋祭りに参加して食育コーナーを担当し、地域との有効な関係を保つための取り組みを行っています。 ・園の基本方針や利用条件、サービス内容などをパンフレット、園生活のしおり、ホームページで説明しています。問い合わせには園長・主任が常時対応し、随時見学ができることを案内しています。見学希望者には園の行事を考慮しつつ、できるだけ希望に沿うように対応しています。 ・ボランティア受け入れマニュアルが整備され、ボランティアを受け入れる体制がありますがまだ受け入れはありません。
5.運営上の透明性の確保と継続性	・園のパンフレットやホームページで最新の情報を提供し、地域の子育て情報誌「こまちプラス」に園の紹介をしています。またパンフレット、募集要項にサービス内容や職員体制などを記載して情報を提供しています。戸塚区役所の「とつかとことこフェスタ」や東戸塚地区センターと川上保育園と合同で行う秋祭りでパネルを展示し園の紹介をしています。 ・組織及び職員が守るべき法・規範・倫理などについては就業規則に明記され、職員はいつでも見られるようになっており、周知されています。経営状況・運営状況については法人のホームページで公開されるとともに、四半期ごとに本社で開催される経営状況報告会に園長が出席し、必要な情報は職員に伝えています。

	・保育所の理念や基本方針について「園の生活のしおり」に記載し、明文化したものを園玄関、職員の更衣室に掲示し、職員、保護者の目に触れられるようにし、職員には入社時研修で、また年度初めに説明を行い、周知しています。 ・重要な意思決定をする際には、職員に対しては職員会議で、保護者に対しては運営委員会で経過を報告しています。要望の多かった親子遠足や餅つき、消防署見学などの行事を取り入れました。 ・中長期計画を作成し、長期計画は「①地域の子育て機能の中心となる機能作り②大家族のような保育園作り③保育士など職員の役割に応じた労働環境を整備する」としています。
6.職員の資質向上の促進	・職員に対して経験年数・職階別計画があり、それに沿って個人別研修受講計画を作っています。園長と主任が職員に合った研修を提案し、研修計画を作成しています。 ・職員は年度初めに目標を定め、研修計画を作成し、年4回、評価シート：コンピテンシーを職員に記入してもらい社員としての評価反省を行い、園長は職員と面接を行い目標に達する達成度を把握しています。保育面については現在評価シートを作成しています。 ・年間指導計画、月間指導計画、週日案、日誌には自己評価し、それを文章化できるように様式化され、自己評価には計画と意図されたものとなるように反省、改善点を記入しています。子どもの育ちや意欲をとらえて、取り組む過程を重視して行っています。 ・保育士一人一人の自己評価を通して、改善点をその後の計画作成に反映するように努め、職員の自己評価を基に、園長と主任が検討し、課題点を出して、みんなで改善に努めていますが、全職員で話し合って改善に取り組んではいません。 ・保育の現場では、現場での判断や対応は職員に任されていますが、園長・主任に報告することになっています。職員にも行事に関するアンケートを取り、また園長が職員に面接を行い直接提案を募っています。園長は年2回職員と面談をして、職員から意見・要望や悩みを把握して課題などについて話し合っています。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

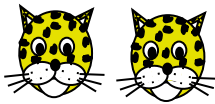
評価分類	評価の理由（コメント）
I－1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成 	・保育理念を「子どもの明日を育み、今日を支える。」として子どもが毎日を豊かにすごせる保育を通じて明日をたくましく生きる力を育み、家庭と地域社会とのコミュニケーションを大切に よりよい今日をサポートします、としています。保育方針は子どもが今日を最もよく生き、望ましい「明日」を作り出す力の基礎を培うとして子どもを尊重したものになっています。 ・基本方針や園目標に基づいて指導計画を職員間で話し合い、実践されているかを確認しています。 ・保育課程は保育理念や保育方針、保育目標を基に、「地域の実態とそれに対応した事業・行事」欄を設けて把握している子どもの状況や周囲の環境を考慮して作成しています。また、年齢ごとの発達過程に応じて保育理念、保育方針、保育目標に沿うように子どもの最善の利益を最優先しています。 ・今年度は保育課程は園長と主任で作成し、職員会議で全員に周知し、保護者に年度初めの懇談会で説明しています。
I－2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	・入園説明会時に保護者から面接日の希望を聞いて面接日を設け、子どもも一緒に来てもらい面接を行い、担任予定職員が、離乳食とアレルギーの子どもは栄養士も一緒に面接しています。面接記録は気になる子どものみ作成しています。 ・保護者に家族の状況、食事と生活状況調査、0歳児には食材の調査などを提出してもらい、成育歴や家庭の状況を把握し、ファイルして、職員が情報を共有できるようになっています。 ・入園時に把握された成育歴や家庭の状況に関する書類と入園児の面談シートを個別にファイルにまとめ、日々の保育に活かしています。 ・入園説明会で保護者にならし保育の必要性を説明し、面接時に家庭環境や就労状況などに配慮して保護者と話し合って、ならし保育の日程を決めて行っています。 ・0～2歳児は連絡ノートに家庭での様子を記入してもらい、園での活動の様子、食事、排泄、睡眠の様子を記載して保護者に伝えるようにしています。3歳以上も全員連絡ノートを用意し、必要に応じて活用しています。その日のクラスの様子をボードに書いて知らせています。 ・年間、月間指導計画、週案はクラスごとに一人一人の子どもの状況を記載しています。月末には当月の評価反省を各指導計画の自己評価やふりかえりの欄に記載し、次期の計画に反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・園舎内は衛生マニュアルに沿って毎日清掃をし、衛生的な状態に保っています。また、保育室内、廊下など子どもが共有して使っている場所の清掃は、クリーンチェック表で管理して清潔に保たれています。
- ・保育室は24時間換気し、おむつ替えの時など窓を開けて空気の入替えを行い、各保育室には温湿度計の付いた時計があり、空気清浄機、加湿器を置いて適切に管理しています。
- ・温水シャワーは乳児室のトイレと幼児用トイレの2か所があり、汗をかいたとき、おもらしをした際にすぐに沐浴できるようになっています。
- ・0～2歳児の保育室はカーペットなどを敷いてコナを作り遊びを中心とした小集団の保育が行われています。
- ・給食時は遊びの場を片づけて食事の場を作り、食事後にテーブルを片づけて、掃除して午睡の場を用意しています。
- ・異年齢の交流については 登園から9時半まで、午後5時以降ホール、園庭で異年齢で遊んでいます。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児まで月間指導計画に基づいた個別指導計画を一人一人の発達に合わせて個人別に全員作成して、発達状況に合わせて担任同士で話し合い変更・見直しを行っています。なお、指導計画の重要事項は保護者に説明し、意見も聞き、保護者の意向も反映させています。
 - ・3歳以上の子どもの個別指導計画は、現在特別な課題がある子どもは在籍していないので作成していません。
 - ・保育所児童要録は小学校に郵送するほか、教師の来訪時に手渡しで渡しています。
 - ・子どもや家庭の個別状況・要望は保護者面談記録、児童票、家庭状況、生活調査票に記載し、入園後の成長発達記録は児童票、健康診断票、歯科健康診査票に記録しています。
 - ・子どもに関する記録は事務所の書庫施錠保管し、職員はいつでも見ることができます。進級時の引継ぎは個々の育ちを記載した児童票をもとに、前担任が新担任に引継ぎを行っています。
- <コメント・提言>
- ・他の項目はA評価ですが 現在特別な課題のある子どもは在籍していませんので評価はBになります。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・配慮を必要とする子どもを積極的に受け入れる姿勢がありますが、現在在籍していません。
- ・気になる子どもについては職員会議で対応の仕方などを話し合い、地域療育センターの職員からの助言や看護師、気になる子どもの担任が受講した外部研修から最新情報を職員会議で共有しています。
- ・エレベーターや多機能トイレ、園庭のスロープや廊下は横浜市福祉まちづくり条例に基づいた建築で完備しています。
- ・職員は虐待の定義、早期発見のポイントについて周知し、職員は毎朝視診を行い、不審なあざやけががないかを確認しています。送迎時に保護者に積極的に話しかけて相談しやすい環境を作って虐待防止に努めています。
- ・入園前の面接時に保護者からアレルギーについて聞き食物アレルギー疾患のある子どもの保護者と栄養士、看護師が面接し、主治医の生活管理指導票を提出してもらい、適切な除去食を提供できるようにしています。栄養士の指導のもとに、各クラスにアレルギー児の情報と対応マニュアルを配布掲示し、全職員が周知しています。
- ・食物アレルギーのある子どもの保護者と担任栄養士、看護師が献立配布時に面談し除去食を提供しています。毎月の献立表で栄養士が赤字でアレルギーの食材、除去食を書き込み、保護者に確認してもらい提供しています。配膳の際は専用トレーに名前を付け除去食品を記入し、厨房で栄養士と職員が確認し、クラスでは職員同士で確認して提供して誤食を防いでいます。
- ・外国籍など文化の異なる子どもに関しては入園時に宗教上の除去食など配慮すべきことを確認して対応しています。また英語や中国語は話せる職員がおり、困ったときは対応ができます。それ以外の言語で必要があれば横浜市の通訳ボランティアで対応する用意があります。

評価分類

評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制



- ・苦情・要望の受け付け担当者は園長で、相談解決責任者は設置法人本部の子育て支援事業部です。
- ・第三者委員の氏名・連絡先を重要事項説明書に明記し玄関にも掲示して、苦情が申し立てができるようになっています。
- ・保護者には行事ごとにアンケートを取り、懇談会でも意見を聞いています。自分で意見を表明するのが困難な子どもや保護者に対しては、職員から声をかけ意見を聞くように努めています。外部の苦情相談窓口として、重要事項説明書にかながわ福祉サービス運営適正化委員会の連絡先を明記しています。
- ・要望・苦情対応マニュアルがあり、第三者委員を交えて解決する仕組みがあります。
- ・アンケートや送迎時の会話、連絡ノート、アンケートで寄せられた要望や苦情は職員会議で検討し、問題があれば設置法人本部と連携を取って対応する仕組みがあります。
- ・消防署見学や習い物のなど保護者からの要望は取り入れることができるものは積極的に取り入れています。
- ・現在まで苦情がないので記録はありません。

<コメント・提言>

- ・運営委員会や連絡帳、送迎時の会話、アンケートなどから寄せられた苦情や要望は園長、主任に報告し、クレーム受理票に記録して対応することになっていますが、現在までクレーム受理票記載はありません。日頃の保護者からの何気ない苦情や意見も、園として、また職員が知っている必要があるものについては記録保管し、再発防止に努めることを期待します。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－１ 保育内容[遊び] 	・子どもの成長や興味に合わせおもちゃや教材を用意し低い棚に置き、子どもは自由に取り出して遊んだり、片付けたりしています。マットや手作りのソファや間仕切りで遊びに合わせたコーナーを作り、落ち着いて遊べる環境に配慮しています。 ・職員は子どもの作りたい、やりたい気持ちを集団活動に取り入れています。 ・乳児は順番を守ったり、「貸す・借りる」という簡単なことから、幼児には、鬼ごっこやハンカチ落としゲームなどルールのある集団遊びを一斉活動に取り入れています。 ・園庭やプランターでプチトマト、ナス、ピーマンなど野菜を育て、収穫した野菜を食事やスタンプ遊びなどに活用しています。 ・散歩時に子どもたちは地域の人や自然に触れ、走る電車を見たり、消防署や高齢者施設の見学で地域を知るようにしています。子どもが持ってきたカブトムシやカタツムリを飼育観察し、生き物を大切にすることを学んでいます。 ・専門講師による体操やリトミックの時間を1歳児から設け、子どもたちは音楽に合わせて身体を動かしたり歌を歌ったり、踊ったりして自由に気持ちを表現しています。幼児クラスは自由画帳でお絵かきを楽しんでいます。 ・子ども同士のけんかは年齢の低い子どもには職員が子どもの気持ちを代弁したり、仲立ちをし、幼児では、できるだけ子どもたちで解決できるように見守り、子ども同士でお互いの気持ちを伝え合い、解決できるように見守っています。 ・毎朝10時頃まで3～5歳児はホールで自由に遊び、異年齢で散歩に出掛け、一緒に遊ぶ時間を設け、お互いに思いやりを持つ機会としています。 ・天候の良い日には積極的に散歩や園庭遊びを行い体を動かしています。公園で縄跳びをやり、乳児は園庭の芝生やマットでゴロゴロ遊びをしています。5歳児は東戸塚地域の保育園と連携しドッジボール大会に参加しています。 <コメント・提言> ・子どもが散歩中に拾った木の実や葉っぱ、牛乳パック、新聞紙などを活かして製作をしています。常にクラスに素材や廃材を置き、子どもたちが自由に取って遊べる環境づくりへの工夫を期待します。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- ・職員は一人一人の子どもの体調や好き嫌いにより盛付量を配慮し、苦手なものは一口でも食べるよう声掛けを行い、食べられた時は誉めています。フォークやスプーンの使い方を伝えながら、手づかみでも自分で食べようとする意欲を大切にしています。食育計画に基づいて野菜の栽培、箸使い、食事マナーなど実施しています。
 - ・毎月行事や季節に因んだ献立の他、年間のテーマを決めた特別メニューを工夫しています。栽培した野菜を給食やおやつに取り入れ、職員と一緒に食べながら話題を提供しています。西日本で採れた食材を使用しています。
 - ・給食日誌に残食の様子を書き栄養士は喫食状況を常に把握しています。
 - ・保護者には毎月献立表や給食だよりを配布し情報提供をしています。年長児の卒園記念品に、人気のレシピ集を編纂して渡しています。
 - ・午睡時は静かな音楽を流して環境を整え、職員が傍らについて安心させ、眠くない子どもは絵本などで静かに過ごしています。呼吸チェックは0、1歳児は5分間隔で呼吸チェックと俯き寝のチェックを行っています。
 - ・トイレトレーニングは家庭との連携の下、個々の発達状況を見ながら個別に対応し、1歳頃から便座に座ることから始め、ています。
- <工夫している事項>
- ・毎月の特別メニューは毎年テーマを持って実施しています。「世界の料理」「日本の郷土料理」に続けて今年は「絵本に出てくる食べ物」です。毎月の給食だよりで絵本の内容の紹介と簡単な作り方を紹介しています。
- <コメント・提言>
- ・園での普段の食事を知ってもらう機会として保護者対象の試食会の開催を期待します

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康に関するマニュアルを基に、子どもの健康状態を記録しています。健康調査票に年間の健診と歯科健診、蟯虫検査の結果を記入し、日々の健康状態は保育日誌に記入し申し送り票で職員は共有しています。身長・体重測定の結果はグラフにしてして記載しています。歯磨き指導は1歳児から行い、4、5歳児は歯科衛生士による歯ブラシ指導を受けています。
- ・年2回健康診断と年1回歯科健診を行い、結果は健診の翌日に文書で保護者に知らせています。治療が必要な場合は嘱託医への受診を勧めています。看護職員は保護者からの相談などを嘱託医とメールを通して連携しています。
- ・感染症への対応や登園許可書の有無を「園生活のしおり」に明記し、保護者へ知らせています。看護師は毎月保健だよりを発行し保護者へ情報を提供しています。園内での感染症発生時は日付、病名と人数を玄関に掲示し保護者に報告しています。
- ・最新の感染症情報は戸塚区医師会小児科発信のサーベイランス情報が入り、事務所に掲示し職員に周知します。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・衛生管理に関するマニュアルは、法人基準で作成されているため、自園に関わる内容への変更について職員会議で検討しその都度見直しを行っています。

・夏のプールや嘔吐処理などの園内研修を実施しています。クリーンチェック表を基にクラスと施設の項目に分けて担当職員が清掃を行い清潔を保っています。

<工夫している事項>

・子どもの衛生管理面で手洗いの励行を習慣付けるため、子どもが理解しやすいように、各保育室の洗面台に動物のイラストを用いて手洗いの仕方を示しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・災害対策マニュアルと事故防止マニュアルを設置法人が作成し園独自の内容を加え対応しています。保育室内の建具はすべて低く、地震に備えてすべり止めを敷き転倒防止を講じています。安全点検チェック表で施設の内外の点検を主任と園長が毎日保育前に行っています。

・毎月様々な状況下での消防訓練を実施し、緊急時のメール配信と災害伝言ダイヤルの活用を保護者は周知しています。年に1回の非常時を想定した引き取り訓練を実施しています。

・地域資源として病院や行政機関など公共施設一覧を事務所に掲示し、病気、事故発生時の緊急フローチャートを各クラスに掲示しています。園児のケガの対応について看護職員が判断し軽傷であっても担任から保護者に説明し、受診の場合は設置法人へ報告しています。アクシデントレポートやヒヤリハットの記録をもとに職員会議で原因、対応を検討し再発防止に努めています。

・園の門は電子施錠で、警備会社と契約し園内に通報ボタンを設置しています。職員は不審者対応訓練を年に1回、合い言葉を決めて実施しています。戸塚区役所へ園の専用携帯番号を登録し、月に1回の神奈川県警「子ども安全メール」で近隣地域の情報を得ています。

・赤十字の救急救命法の講座を10名の職員が受講しています。

評価分類

評価の理由（コメント）

Ⅱ－３ 人権の尊重



・「全国保育士倫理要綱」を入社時や年度始めの非常勤職員を含めた研修の教材として用いて、職員は子どもへの言葉かけや対応を周知しています。乳児の仕草や表情で気持ちをくみ取り、子どもからの内緒のはなしに耳を傾け、信頼関係を築いています。

・子どもが訴えたいことがあり職員と1対1になりたい時、また怒られた時など職員の見守りの中、建具の陰、廊下、エレベーター前などが、友達の視線を気にしないですむ場所となっています。

・個人情報保護と守秘義務について職員は入社時に、実習生はオリエンテーション時に誓約書を交わしています。保護者には「園生活のしおり」を基に個人情報保護について説明し、子どもの写真など個人情報使用の同意書もらっています。

・日常の遊び、運動会や行事での役割や服装、並び方など性別による区別はしていません。名簿はあいうえお順となっています。職員は家庭での父母の役割の固定観念を持たず世帯状況を踏まえて対応しています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- ・玄関に、入園時に配付する「園生活のしおり」や、パンフレットなどを置き、保育の理念や目標を掲示しています。入園説明会や懇談会で保育の方針や新制度変更点を説明し、行事後アンケートで保護者の園運営に対する理解を確認しています。園だより（クラスだより）にクラス毎の今月の保育目標を記載しています。

- ・クラス毎の日誌に子どもの名前と保護者からの伝達、職員からの伝達欄を設け、送迎時に担任以外でも保護者に伝えられるようにしています。出席率100%のクラス懇談会や個人面談で子どもの様子やクラスの様子の情報交換をしています。

- ・保護者から相談を受けた職員は内容に関わらず園長に報告し、園長や主任の助言を受けています。

- ・保護者自ら西部療育センターに通院している場合も、継続的にフォローできるようにしています。

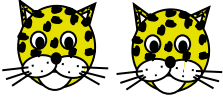
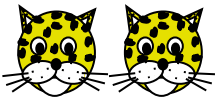
- ・年度初頭に年間計画表を保護者へ渡し、園行事への保護者の早めの取り組みに配慮しています。保育参観日を保護者の都合のよい日に参観できるよう日程を用意しています。

- ・自主的な保護者組織はありませんが、クラスの保護者だけで話し合いたいとの要望あれば保育室を提供しています。

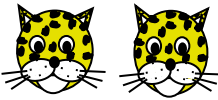
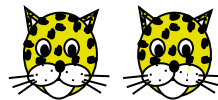
<コメント・提言>

- ・保護者の自主的な活動の支援を通して、園との関係をより深めらるよう、組織作りへの援助や支援が期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	・年に2回の運営委員会に地域の民生委員が出席し、地域の現状の情報交換をしています。地域の子育てニーズを把握するまでには至っていません。 ・戸塚区の園長会や幼保小連絡会議に園長が出席し、情報や意見の交換を行っています。職員は近隣の保育園と今後交流を深めていこうと具体的な内容について検討しています。 ・一時保育の登録者は5名でそれぞれのクラスに入っている一緒に遊んでいます。 ・地域住民に向けて専門講師による子育て支援講座「ベビーマッサージ講習」を開催しました。 <コメント・提言> ・地域住民との交流を通して地域の子育て支援ニーズを積極的に把握することが期待されます。
Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能 	・地域の子育て情報誌「こまちプラス」に園の情報を提供したり、育児相談の案内を園の外に掲示しています。 ・園の子育て支援講座の案内は保護者に配ってもらい、情報提供に努めています。 ・相談内容に応じて、地域の医療機関、戸塚地域療育センター、南部児童相談所、戸塚区こども家庭支援課、品濃小学校などの関係機関の連絡先を掲示し職員は常時確認しています。外部の関係機関へは主として園長が窓口となり、担当者と必要に応じて相談やアドバイスの連携を取っています。 <コメント・提言> ・育児相談のために曜日と時間帯と担当者を設け、いつでも相談に応じる体制はできていますが実績がありません。地域に対してより多くの発信が期待されます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	・運動会や発表会の行事に地域でお世話になっている民生委員、第三者委員、散歩で出会う方や見学に来た方を招待しています。 ・地域の団体とは交流がまだありません。園長が戸塚区幼保小の会議に出席し、運動会は品濃小学校の体育館を借りて行っています。 ・戸塚区役所である「とつかとことこフェスタ」に参加し、保育園紹介をし、川上保育園と地区センター合同の秋祭りに参加して食育コーナーを担当し、地域との有効な関係を保つための取り組みを行っています。年長児が東戸塚の１３の保育園児とドッジボールを行ったり、公園での交流を行っています。 ・地域の子育て情報誌「こまちプラス」に情報を提供し、園のパンフレットや募集要項にサービス内容や職員体制などを記載して情報を提供しています。 ・園の基本方針や利用条件、サービス内容などをパンフレット、園生活のしおり、ホームページで説明しています。問い合わせには園長・主任が常時対応しています。 <コメント・提言> ・新興住宅街で地域団体との交流は難しい面もありますが地域に保育園を知ってもらうために、地域の子育てグループ等との交流を持たれるような取り組みの検討が望まれます。
Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供 	・園のパンフレットやホームページで最新の情報を提供し、地域の子育て情報誌「こまちプラス」に情報を提供しています。 ・戸塚区役所のとことこ戸塚フェスタや地区センターと川上保育園と合同で行う秋祭りでパネルを展示し園の紹介をしています。 ・園の基本方針や利用条件、サービス内容などをパンフレット、園生活のしおり、ホームページで説明し、問い合わせには園長・主任が常時対応しています。随時見学ができることを案内し、見学希望者には園の行事を考慮しつつ、できるだけ希望に沿う日時で対応しています。
Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ 	・ボランティア受け入れマニュアルが整備され、受け入れる体制がありますがまだ受け入れはありません。ボランティア受け入れの担当は園長、育成担当は主任となっています。 ・実習生受け入れマニュアルが整備され、オリエンテーション時に保育園の基本方針について説明しています。受け入れの担当は園長とし、担当クラスの担任が指導して、受け入れ時の記録が整備され、横浜子ども専門学校子ども総合学科の学生を受け入れ、実習プログラムは学校の実習担当者と幼児クラスの担任で、効果的な実習が行われるように努めています。 ・実習後は実習生と担当職員、園長が話し合いの機会を設け、意見交換を行っています <コメント・提言> ・ボランティアの受け入れがありませんので評価はBとなります。 ・保育園が地域に開かれた存在となるためにも、地域からのボランティアを積極的に受け入れと事が望まれます

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V-1 職員の人材育成 	・園の人材構成について、不足の場合は園長が設置法人に要請して補充が行われます。職員に対して経験年数・職階別研修計画があり、それに沿って個人別研修受講計画を作り、園長と主任が職員の能力・経験に合った研修を提案し、研修計画を作成しています。 ・職員は年度初めに目標を定め、研修計画を作成し、年4回 評価シート：コンピテンシーを記入して自己評価・反省を行い、園長は職員と面接を行い目標に達する達成度を把握しています。保育面については現在評価シートを作成しています。 ・研修担当は園長と主任で、内部研修と外部研修の年間計画をまとめ、内部研修として嘔吐処理や消毒の方法、看護師による感染症やアレルギーについて研修を行っています。職員は横浜女子短大主催の研修や保育業者の研修に参加するなど、保育に関する講演に積極的に参加しています。研修後レポートを提出し、回覧して情報を共有しています。研修は保育環境やコーナ設定に活用していますが、研修内容を見直すまでには至っていません。クラス担当は常勤と非常勤職員を組み合わせ、非常勤職員も必要な研修を受けることができます。 ・非常勤職員の指導担当は主任で、業務上の相談事などを聞き、コミュニケーションが取れるようにし、職員会議などで決定した事項や、保育のねらいや子どもの様子など、伝達すべき事項について必要なことは必ず伝え、確認のサインをしてもらっています。
評価分類	評価の理由（コメント）
V-2 職員の技術の向上 	・週案、月間指導計画に振り返り、年間指導計画に自己評価を記入し、各クラスで話し合い、次期への計画作成につなげています。 ・法人本部で開催する園長会、保育士会で得た姉妹園の事例を生かし保育環境、コーナ設定に参考にしています。 ・園長は外部研修を受講し子どもへの対応、子どもの個を大切にすることなどを、職員会議で取り上げています。 ・年間指導計画、月間指導計画、週日案、日誌には自己評価し、それを文章化できるように様式化され、自己評価には計画と意図されたものとなるように反省、改善点を記入しています。子どもの育ちや意欲をとらえて、取り組む過程を重視して行っています。 ・保育士一人一人の自己評価を通して、改善点をその後の計画作成に反映するように努めています。自己評価は各クラスごとに職員間で話し合っていますが、職員全員で話し合っているわけではありません。職員の自己評価を基に、園長と主任が検討し、課題点を出して、みんなで改善に努めています。話し合っている改善には取り組んでいません。 ・保育園としての自己評価は保育園の理念や基本方針として保育課程・園目標に基づいて行われていますが、園としての自己評価は公表していません。 <コメント・提言> ・職員の自己評価結果を持ち寄り、全職員で話し合い、保育園の課題を明らかにして改善に取り組むことが期待されます。 ・保育園の自己評価を公表されることが望まれます。

V-3 職員のモチベーションの維持 	・設置法人の作った経験年数・職階別資質基準があり明文化されています。保育の現場では現場での判断や対応は職員に任されていますが園長・主任に報告することになっています。職員にも行事に関するアンケートを取り、また園長が職員と面接を行い直接提案を募っています。 ・園長は年2回職員と面談をして、職員から意見・要望や悩みを把握して課題などについて話し合っています。
---	--

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
VI-1 経営における社会的責任 	・組織及び職員が守るべき法・規範・倫理などについては就業規則に明記され、職員はいつでも見れるようになっています。経営状況・運営状況については法人のホームページで公開されるとともに、四半期ごとに本社で開催される経営状況報告会に園長が出席し、必要な情報は職員に伝えています。 ・設置法人で開催する園長会議で報告される他園の事例を持ち帰り、職員会議などで周知し、それらの行為を行わないように対策を話し合い、予防に努めています。 ・廃油回収を行い石鹸としてリユースし、園の玄関に廃油の取り組みを掲示しています。廃材を利用して子どもたちが製作を行っています。
VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	・理念・基本方針を「園の生活のしおり」に記載し、明文化したものを園玄関、職員の更衣室に掲示し、職員、保護者の目に触れられるようにしています。職員に理念・基本方針を周知するよう入社時研修で、また年度初めに職員に保育所の理念や基本方針について説明を行い、職員会議や乳児・幼児会議、面接時に職員が理念・基本方針を理解できているかを確認しています。 ・重要な意思決定するにあたっては保護者と意見交換をする場を設け、要望の多かった親子遠足や餅つき、消防車見学などの行事を取り入れています。 ・重要な意思決定をする際には、職員に対しては職員会議で、保護者に対しては運営委員会で経過を報告しています。 ・設置法人本社の担当マネージャーや事業部長、課長などから意見をもらい気になる子どもについて、戸塚地域療育センターの職員から助言を得られる体制があります。 ・経験年数と階層別研修があり、スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成しています。主任は各クラスに入ることによって日々の業務の中で各職員の状況を把握し、各職員に対して助言や指導を行い、職員の心身の健康状態に配慮して職員が働きやすいようにしています。

VI-3 効率的な運営



- ・事業運営に影響のある外部環境の変化などについては、設置法人が情報の収集・分析を行い、園独自でも保育に関する新聞のコピーや行政からの情報提供されたものを回覧掲示しています。
- ・重要な情報は設置法人のエリア会議で議論され、重点改善課題として設定された場合は、園に持ち帰り検討しています。運営面での重要な改善課題について 園長は職員会議で職員に周知し、園として取り組んでいます。
- ・中長期計画を作成し 長期計画は「①地域の子育て機能の中心となる機能作り②大家族のような保育園作り③保育士など職員の役割に応じた労働環境を整備する」としています。
- ・次代の組織運営に備え、設置法人と園長会議で検討しています。幹部職員の計画的育成は保育士の経験年数と階層別研修により計画的に育成しています。

利用者家族アンケート

事業所名：明日葉保育園 東戸塚園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数79名、全保護者68家族を対象とし、回答は50家族からあり、回収率は74%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、「満足」回答が62%、「どちらかといえば満足」回答が36%で、総合満足度は98%でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 問4 クラスの活動や遊び 「満足」が70%、「どちらかといえば満足」が30%で、総合満足度は100%
- 2) 問5 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供 「満足」が58%、「どちらかといえば満足」が42%で、総合満足度は100%
- 3) 問7 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか 「満足」が72%、「どちらかといえば満足」が28%で、総合満足度は100%
- 4) 問4 遊びを通して友達や保育者との関係が十分持てているか 「満足」が58%、「どちらかといえば満足」が40%で、総合満足度は98%
- 5) 問6 保護者懇談会や個別面接などによる話し合いの機会 「満足」が54%、「どちらかといえば満足」が44%で、総合満足度は98%
- 6) 問7 あなたのお子さんが大切にされているか 「満足」が68%、「どちらかといえば満足」が30%で、総合満足度は98%
- 7) 問5 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気 「満足」が74%、「どちらかといえば満足」が24%で、総合満足度は98%

◇ 比較的満足度の低い項目

- 1) 問6 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換 「満足」が40%、「どちらかといえば満足」が40%で、総合満足度は80%
- 2) 問4 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応 「満足」が56%、「どちらかといえば満足」が28%で、総合満足度は84%
- 3) 問4 園のおもちゃや教材については 「満足」が64%、「どちらかといえば満足」が22%で、総合満足度は86%
- 4) 問6 お子さんに関する重要な情報の連絡体制 「満足」が38%、「どちらかといえば満足」が48%で、総合満足度は86%

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	2%	68%	16%	14%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	74%	26%	0%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	48%	26%	0%	2%	24%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	56%	40%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	52%	38%	4%	0%	4%	2%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	72%	24%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	56%	40%	2%	0%	0%	2%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	60%	32%	2%	4%	2%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	50%	38%	10%	0%	2%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	50%	38%	6%	0%	6%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	70%	30%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	68%	26%	4%	0%	2%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	64%	22%	8%	2%	4%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	42%	46%	6%	2%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もてているかについては	58%	40%	0%	2%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	56%	38%	4%	0%	2%	0%
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	82%	14%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	74%	22%	0%	0%	4%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	74%	22%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	58%	38%	0%	2%	2%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	42%	24%	8%	0%	24%	2%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	62%	32%	2%	4%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	56%	28%	8%	4%	4%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	70%	28%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	74%	24%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	26%	58%	12%	4%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	58%	42%	0%	0%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54%	44%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	64%	24%	10%	0%	2%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	58%	34%	4%	0%	2%	2%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	40%	40%	10%	4%	4%	2%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	38%	48%	8%	0%	6%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	44%	46%	8%	0%	2%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	58%	36%	4%	0%	2%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	68%	30%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	72%	28%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	52%	24%	2%	0%	20%	2%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	64%	28%	4%	2%	2%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	54%	36%	8%	2%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	62%	36%	2%	0%	0%

観察方式による利用者本人調査

明日葉保育園東戸塚園

【0歳児】

<遊び>

部屋の中央にブロックやミニタンバリン、職員手作りの猫や三角の形をしたパズル、どんぐりやとうもろこしの形の振ると音の出るおもちゃが置かれています。好きなおもちゃを手にとって、歩きまわっている子、座り込んで職員に手伝ってもらって木製の型はめをやっている子、職員に抱っこされタンバリンを振っている子がいます。どの子も職員に見守られて思い思いに遊んでいます。

一人の子どもが新聞紙を破き始めました。くしゃくしゃにする時の出る音が面白らしく 他の子どもも近寄ってきました。どの子も新聞紙を破き始めました。破いた新聞紙を丸めてボールにしている子もいます。みんな夢中になって破いたり、丸めてボールにして、投げたりして遊んでいます。

<食事>

テーブルにつき、職員が給食の歌を歌い、「いただきます」の合図で子どもたちは一斉に食べ始めました。どの子も上手にスプーンを使って細かくカットされたスパゲティとミートソースを口に運んでいます。ときどき手づかみになる子もいます。

職員はときどき「おいしいね」「すごいね。上手だね」と声をかけたり、口に運んであげていました。

<オムツ替え>

職員が部屋の片隅、オムツ替えの台に寝かせておむつを取り替えています。子どもはおとなしくおむつを替えてもらっています。「気持ちよくなったね」とお尻を拭いて、新しいオムツに替えて気持ちよさそうにしていました。

【1歳児】

<自由遊び>

レールをつないだり、電車を走らせらせるコーナー、おままごとコーナー、お絵かきコーナーが設けられ、子どもたちは好きなところで遊んでいます。レールをつないでいる子、お気に入りの電車を持ってきて、レールの上を走らせている子がいます。それを見ていた子が欲しくなったのか手を出して電車を取ろうとしているのを見て職員がそばに行って「お友だちが遊んでいるでしょう。貸してって言おうね」と声をかけていました。おままごとコーナーでは 子どもたちは好きなお弁当箱を手にとっています。大きなお弁当箱、小さな弁当箱を手にとって職員に渡している。「ありがとう」「おいしいね」と言われると嬉しそうにしていました。

＜ボールプール＞

職員が四角い大きな箱の中にボールをたくさん入れると、子どもたちがその中に入って遊んでいます。入りたいように見ていた子どもに気がついた職員が「入れて」と言ったらと促すと、「入れて！」と言って元気よくボールプールに入りました。嬉しそうにしています。

すぐそばにはアンパンマンのお家が置いてあります。アンパンマンの家の窓から子どもたちが次々に入っています。すぐにいっぱいになってしまいました。「順番で入ろうね」と職員が言うと並んで待っています。

【2歳児】

＜粘土遊び＞

子どもたちは粘土をおさかなの型抜きに入れてお魚を作っています。「僕おさかなが好きなんだ」と話しながら粘土をコネコネしています。雪だるまを作っている子を見て他の子も次々と雪だるまを作り出しました。

職員が「そろそろ終わりにしましょうか」と声をかけると「いやだ、もっとやりたい！」と叫ぶ子がいました。「やりたい人は続けていいよ。」と言われてホッとした表情で、粘土遊びを続けていました。

＜給食＞

子どもたちがテーブルにつき食事が始まりました。子どもたちは「今日はパパがお迎えなんだ」などとお話しながら食べています。どの子もフォークで上手に食べています。食べるのが早い子。マイペースの子どももいます。食べ終わった子はさっさと食器を片づけ、椅子を片づけ、歯磨きを始めました。職員に仕上げ磨きをしてもらい、部屋の隅に行って絵本を取り出して読みだしました。

【3歳児】

＜排泄＞

食事の後午睡の支度が始まりました。職員が床をきれいに清掃して、他の職員が布団庫から布団を出しています。着替えを済ませた子どもは「敷掛け」のセットをヨイショヨイショと運びはじめました。自分の布団が終わっても友達の分まで運んでいます。すでに眠たい子どもは布団の上でゴロゴロとしています。「寝る前におしっこに行ったら？」と職員が声をかけます。トイレを覗くと子どもが一人、困った顔で立ちすくんでいました。調査員が「どうしたの」と聞くと「おしっこがでちゃった、先生をよんできて」。布団を出している最中の職員に「トイレで子どもが呼んでいます」と伝え、職員はトイレに飛んで行き「○○ちゃんこっちへ来て」と子どものパンツをおろ

し、子どもの目線で優しく声をかけながらシャワーでお尻を洗い、子どもは何事もなかったようにパジャマに着替え、布団にごろごろしました。

<一斉活動>

職員の「今日は雨だけど昨日は曇りで遠足に行けて良かったね。昨日はどこに行ったの？」の言葉に子どもは「きのう、おわかれえんそくだった」「イルカのジャンプみた」「えのしまー」と、口々に報告しています。職員は「江ノ島水族館に行って、魚をいっぱい見たね。どんな魚がいたっけ？」と子どもの言葉を受けて次に進めています。図鑑を開き、子どもが言う魚を指して「今日はこの白い紙を使ってクレヨンで昨日見た魚や楽しかったことを描きましょう」「はい」。子どもは道具箱からクレヨンを出し、早速描いています。ある子どもは「みず」と言いながら画面いっぱいに青いクレヨンを塗っています。その上にグレイの 2 頭のイルカを交差させて描いています。職員は一人一人の描きかけの絵を見ながら「これは何？」「おしえているひと」「お兄さんやお姉さんがイルカの傍にいたわね」。「これは？」と茶色の丸を描いている子どもに聞きますと「みーとぼーる」の返事。「そうか、お弁当のおかずがミートボールだったね。〇〇ちゃんはお昼が一番楽しかったんだね」。別の子どもは「いるかのとき（イルカジャンプの時）みずかかりたかったよ」。様々な感想が絵になって描かれていきました。

【4 歳児】

<朝の会>

「準備はいいですか」の職員の声で当番さんの挨拶から朝の会が始まります。「昨日は遠足だったから特別の小さいシールを貼ろうね。小さいけど上手に貼れるかな？」職員はテーブルごとに様子を見て歩きます。子どもはシール帳に、昨日の特別シールと今日の普通のシールを貼っています。

子どもたちはそれぞれ、連絡用の袋に園からのお手紙も一緒に入れて通園袋にしまって、歌の時間です。職員の「〇〇の歌、みんな歌えるかな？」「えー」「むずかしいよ」「うたえる、おぼえた」子どもは様々に職員に訴えていますが、「先生も一緒に歌うよ」と職員のピアノが始まると一斉に元気な声で歌い出しました。かなり長い歌でしたが終わりまで歌えました。職員は嬉しそうに拍手しました。子どもたちは、はにかんだように、そして得意げにみんなにこにこしています。

<食事>

5 人ずつのグループに分かれて食事を摂ります。シュウマイと野菜の和え物、スープ、ご飯で、それぞれ別盛となって全員箸を使用しています。アレルギーのある子どももお盆の色を変えて、一つのグループに入って普通に食事を

進めています。隣のグループで一人がスープをこぼしてしまいました。「きたない」と誰かが言うと職員は床を拭きながら「そんなこと言わないの、自分がそう言われたら嫌でしょう？頑張って食べてたのよ。シュウマイの油が手について滑ったんだね。皆も気をつけて。」子どもたちは自分もこぼさないように気をつけて、おしゃべりしながら食事を進めています。

食事が終わって自分の椅子を洗面所近くに運び、歯磨きを始めますが、職員の「座って歯ブラシを持つのよ」の声かけにも、落ち着いて座っての歯磨きが難しいようです。

【5 歳児】

<食事>

机を縦に長く並べて細長い状態で食卓ができました。当番 2 人が配膳の手伝いをしています。向こうの角に職員が座り、遠足の思い出の絵を描き終った順に手を洗って、向こうから並んでいきます。仲良しのおしゃべり 4 人が手前のテーブルを占領しています。配膳の間もおしゃべりが止みません。職員が「A ちゃんはおそこ、B ちゃんはここ」と 4 人を離しましたが A ちゃん、B ちゃん共に向うでもおしゃべりを楽しんでいます。当番さんは一つ一つ丁寧に運びますが、1 皿サラダが残っています。さて、と見回してもどこか分かりません。「一つあまっちゃった」別の当番が「あそこ」「う～ん、どこ？」「そこだよ」「あっ、わかった」。当番 2 人の間に声はなく、目と目での会話が印象的でした。

<自由遊び>

午睡のない 5 歳児は前半はホールで静かに絵かき、ブロックをした後、園庭に出てボール遊びが始まりました。3 分の 1 は職員が持つ大縄跳びを、他の子どもは大きめのボールを手思い思いに持っています。大事にボールを抱え時々ドリブルの様子を見せる子ども、二手に分かれてキャッチボールを始める子ども、人数も多くなったり少なくなったり、「チームをつくろうよ」「いやだよ、一人がいい」と足で蹴ったり、ヘッドキックしたり、いつの間にかドッジボールがサッカーへと変化していきます。そこにルールはないけれどそれぞれが別々のようであり、一緒にボールグループの意識があるようです。すぐそばで 5 人で一緒に大縄跳びを跳んでいます。なかなか続きません。2 人の子どもが自分たちだけで飛びたいと跳び始めました。3 人の子どもと職員は大きな声で跳んだ数を数えています。13 くらいまで跳んでいました。

明日葉保育園東戸塚園 事業者意見

開園して 3 年が経過し、職員は日々忙しく業務に取り組んでおり、自分たちの保育をゆっくり振り返る時間がとれていません。第三者評価を受審することで、職員全員で現在の問題点や課題を発見したり、保護者の意見を受け止め、改善できるところは取り組むなど、保育の質が向上するための気づきを得ることができればと思い受審しました。

第三者評価のプロセスにおいて、職員と一つ一つの項目について話し合い検討することで、職員の率直な考えを知ることができました。保護者アンケートでは保護者皆様の率直なご意向を伺うことができ、励みになりました。

第三者評価を受審したから終わりというのではなく、それをどう生かしてゆくかが大事なので、評価が低かった項目については、今後も職員会議などでどのようにしたら評価が上がるかを引き続き検討してゆきます。また、保護者からのご意見・ご要望は真摯に受け止め、改善できるところは改善したり、フィードバックをしてゆきます。また、今回評価が高かった項目についてもより向上するよう検討してまいります。

園長 東 千里